

びよっぱ11

www.chikamori.com

高知市大川筋一丁目 1-16

tel. 088-822-5231

発行 ● 2021 年 10 月 25 日

発行者 ● 近森正幸 / 事務局 ● 寺田文彦

Vol. 424
社会医療法人近森会



1979 年に発行された「今日の近森会 II (分院落成記念)」に掲載された航空写真

75th Anniversary
CHIKAMORI
1946-2021

Go to 75 周年職員川柳 受賞作品決定!

診療支援部長
兼 企画課長

山崎 啓嗣



近森病院 75 周年記念事業として「Goto 75 周年川柳」を募集し、職員から 151 の句が寄せられました。

この中から 20 句が決選投票へと駒を進め、全職員による投票 (有効数: 1,232 票) にて最優秀作品が選ばれました。近森への熱い思いが込められた句や優しい想いの詰まった句、

思わず笑ってしまうような句など様々な作品が寄せられています。同じ職員の句を通じて気づきがあったり未来を想像したりと良い機会になったと思います。是非、力作をご覧ください。



医事課 地域医療連携センター
北川 真也

あなたの作品は、職員それぞれの持つ「救いたい」の想いをシンプルに表現し、これからも職員が一丸となつて邁進していく決意を感じられました。全職員による決選投票では 4 人に一人が本作品を選び、最も多くの得票数となりましたのでここにその栄誉を称え最優秀賞を贈ります。

「救いたい」
想いひとつに
未来へと

最優秀賞

受賞作品

あの病院! ママの仕事場! 子の笑顔!

臨床工学部 透析室 大崎志保

🌸 理事長賞

あなたの作品は、仕事に対する誇りと家族の理解が感じられ、日頃のうちの会話や笑顔など微笑ましい親子関係をも連想させます。将来、医療の道に進んでくれるかもしれないという嬉しい期待感も見て取れ、思わず笑みのこぼれる作品でした。ここにその栄誉を称え理事長賞を贈ります。

75(ななじゅうご) 止まることない 成長期

診療支援部 企画課 中山雄章

🌸 近森リハビリテーション病院長賞

あなたの作品は、75年もの歴史を重ねた近森であっても未だ成長期という、まだまだ若々しくチャレンジしていく姿勢やエネルギーを感じさせ、近森の永続性を想像させてくれました。ここにその栄誉を称え近森リハビリテーション病院長賞を贈ります。

変わらない 近森の心 これからも

【協力会社】株式会社トーカイ 吉岡慶様 / 鳴瀬弘二様

🌸 近森オルソリハビリテーション病院長賞

あなたの方の作品は、近森の心は75年の歳月を重ねても何ら色褪せることなく、先人の思いをこれからも継いでいくという決意が感じられ、失ってはいけない大切なものを思い起こさせてくれる作品でした。ここにその栄誉を称え近森オルソリハビリテーション病院長賞を贈ります。

近森で 育って 巣立ち また 還る

臨床検査部 病理検査室 島崎真由

🌸 統括看護部長賞

あなたの作品は、近森で勤めたスタッフが活躍の場を変え、新たな経験を積み技術力を高めていく中で再び還ってきてくれるという近森あるあるを表現してくれた作品です。他での経験を糧にさらに活躍してくれるスタッフを想像し嬉しさを感じました。ここにその栄誉を称え統括看護部長賞を贈ります。

ヘリポート 見上げる空に 希望の色

総合心療センター 作業療法室 山内みほ

🌸 優秀賞

あなたの作品は、救命救急センターにおけるヘリポートの重要性を的確に表現していました。実際のドクターヘリ飛行では、多くの方が空を見上げ希望を感じ、またその色は読み手それぞれが患者さんを思う温かい気持ちで感じるものだと思います。ここにその栄誉を称え優秀賞を贈ります。

患者さん 笑顔にしたい 全員で!

診療支援部 ICT推進課 大野史品

🌸 殊勲賞

あなたの作品は、患者さんを笑顔にしたいというまっすぐな気持ちが表現されており、多くの職員が共感し近森の底力を強く感じられる作品でした。ここにその栄誉を称え殊勲賞を贈ります。

惜しむらく ハワイスペイン パリインド

総務課 広報 北添由紀

🌸 敢闘賞

あなたの作品は、軽快なリズムで職員旅行を懐古し多くの職員の共感をよびました。いつかまた、職員旅行が再開できるような未来を想像し、ここにその栄誉を称え敢闘賞を贈ります。

近森病院・近森リハビリテーション病院・近森オルソリハビリテーション病院からのお知らせ

12 / 30 (木) ~ 1 / 3 (月) は休診です ※近森病院救命救急センターは 24 時間対応いたします。

決選投票へ 駒を進めた作品

支え合い 100年先も 近森愛

75周年、100周年に留まらずこの先もずっと高知県における近森愛を感じられるように読みました。

知り合いの知り合い誰か 近森家

初対面の方、久しぶりに会う親戚など、職場を伝えると、必ず「私の知り合いも近森で働きゆう」と言われます。それだけ、近森に関係している仲間が多いんだな、と実感します。

早足は オンでもオフでも 近森っこ

大方の近森病院の職員は職場でも、街でも早足の姿を見かけます。これは、長年の染み込んだ習慣です。

夕陽背に「お疲れさま」と 咲く笑顔

仕事をやりきった！という笑顔に近森病院のスタッフの日々の頑張りを感ずります。職員の頑張りと笑顔あつての病院という感謝を込めて。

野戦の夜は「まいがまん」と 走る女医

今から20年位前でしょうか、まだ逆紹介の概念がない時代、外来延べ患者数は月に2万5千人を上回る状態だったように思います。当然、夜間の救急外来も軽傷から重傷まで多くの搬入があり、おまけに泥酔者が入ってきて騒いだり、まさに野戦病院と化する光景を見てきました。医師も診察室で診察するだけでなく、紙カルテに伝票の時代「走る」ことは日常であったように思います。そんなバタバタした雰囲気なかでも、医師、看護師、コメディカルは汗かきながらも、あたかもそれを楽しんでいるかのような錯覚に陥るほど一緒に仕事をしているという連帯感が強く、まさにこれが「近森イズム」ではないかと感じたものでした。

あの日から 守りし人と その暮らし

75年という歳月と、理事長のイメージから作りました。

木漏れ日が 白衣に光る 夏の朝

夜勤明けに本館と心療センターの間の並木道を通った時、とてもきれいでした。

どこがえい?! 声色違えど ちかもりよ!

救急要請時や何か病気が怪我があつた時、どこの病院が良いか誰かに聞いた場合、老若男女(年齢や性別によって声の質が違う)問わず「近森」と返ってくるほど、地域に根ざした病院となっている。

酔いどれて 帰路に眺めし 近森よ(合掌)

どんなにひどく酔っても、煌々と灯りをともし急患を受入れる近森を廿代橋から眺めると、「ありがとうございませう。」と合掌したくなる。

えきおりて みあげる空に ffの青

コメントなし

自問する 患者にとって どうかの

「患者にとってどうかの」は、ずいぶん前に理事長から聞いた言葉ですが、自分のなかで印象深いものとなっています。事務職はその判断を迫られることは少ないのですが、医療従事者の端くれとして、何か迷うときに思い出すようにしています。

バワフルに 今日聞こえる へりの音

穏やかなトーンのドクターヘリ到着の院内放送と、ヘリのプロペラ音を聞くたびに、救急患者さん受入れのために担当の職員皆が奔走していることを思い、感謝と、またとても力強く感じています。



その他 応募作品

75(セブンティファイブ) 高知の救急 これからも

振り返り「医は仁術」地を 踏みしめる

医の柱 真心継続 全集中!

近森と 命の守り 永遠に

近森の 熱き想いを いま新た

病い人(やまいびと) 共に歩もう 近森と

共に生き 共に未来を 近森と

病い人(やまいびと) 喜びつらさ 近森と

つなぐ命 紡ぐ(つむぐ)やさしさ 近森と

ひとと人 とともにゆかん ちかもりと

熱い目と 使命を胸に 歩み行く

コロナにも 雨にも負けぬ 青い旗

75 ワインに例えて その味は

七十五 走る姿に 我早足

まかせちよき 近森船取り 波に乗る

近森が 命の波間に 風ぎ挑む

受付の さかな隔りて 笑みこぼる

心外op for patient(患者の為に) 神ってる

one team 近森病院 半端ないって

チーム医療 患者を思い 全集中

地域医療最後の砦の指名もち近森病院我ら輝く

近森の 熱き想いは この先も

配置換え 垢を落として 新発見

理想へと 思っに行けば 近森なり

信じ合い 野戦の如し 今昔なり

電子化ゲー 紙運用には 戻れない

患者言う 建物増えて 迷路だね

タクシーで 必ず言われる ちかもり町

月初め 来るたび増える しわの数

コロナ禍で マスクの下は ノーメイク

居酒屋が 恋しいほどに ディスタンス

最高の 医療を患者に 届けたい

近森に 高知の救急 任せとけ

救う意思(いし) 75年(ななじゅうごねん) 紡ぐ医師(いし)

コロナにも 揺るがぬ基盤 近森病院

祝福と 繁栄願い なびく旗

ドンと来い 高齢社会に 大地震

イブの日も サンタに負けず 営業中

勤め先 記入するとき 医者気分

お大事に いつかわたしも そちら側

お静かに かすかに聞こえる サイレント(サイレント)

これからも 高知の医療を 護ります

変革を 続ける歴史 75年

花が咲く 思い出話と 記念誌と

近森は 100年たっても 寄り添います

七十五 高知のために その先へ

近森は 地域のために これからも

救急で 命を救う 県民の

近森の 75年に 五輪添え

積み重ね につこ(25)り笑顔を 100年へ

近森と オリンピックへ ありがとう

待たせたな 近森大好き アイラブユー

周年に入社しました がんばるぞ

近森は 患者とともに その先へ

昭和から 高知の医療 支えてる

地域医療 川と寄り添い 幾星霜

周年(執念)で 押し寄せる波 乗り越えて

いけません(行けません) go toキャンペーン 病院は

近森も 波浪警報 発令中

「不養生!」ぽっこりお腹 力なく

かかりつけ? グーグル先生 マイ主治医

委員会「始まります!」で 始まります

近森へ むかし通院 いま通勤

救急の バトンを繋ぎ 75

この場所で 守り続ける 紫の灯

サイレンが 聞こえたのにな おかしいな

いつの間にあっちこっちが 近森に

知り合いの 知り合い大抵 職員だ

イブの予定 今年はあると 胸張れる

推し事が お仕事なのは コスパいい

休日も つい通っちゃう 院前を

もう無理です… いやできるっ! あっ!できた…

まだ途中 進め近森 未来へと

屋根高く 秋刀魚の煙が 今やへり

えっマジで!? 開院当時も 通院を!?

高知家に 近森あらば 憂いなし

明日向かい 歴史作ろう 今日ここで

高知より 日本の医療を しょってたて

復活の 職員旅行 宇宙行き

近森よ すべては患者の ためにあれ

どのときも より良い医療 “こころみる”

つなぎゆく 青キートンの みちあまた

またピンチ? 次はどなたが 渦の中心(なか)?

新しい 未来に向けて 歩み出す

さあ行こう 高知の新たな 医療へと

近森を みんなで支え これからも

これからも 高知の医療を 護りたい

近森の 新たなページ 歩み出す

新しい 医療に向けて 歩み出す

近森は 高知とともに 未来へと

生まれ年 何があったか 近森で

近森は 患者のために これからも

いつまでも 患者に寄り添い 護りたい

理事長の 熱き想いは この先も

幾年と 変化によりそい 成長へ

近森の 熱き想いは 未来へと

近森の 熱き想いは 止まらない

この先も 患者とともに 100周年

外傷も 内科も診るよ 近森は

近森に 高知の医療 任せとけ

昭和から 高知の救急 支えてる

救命へ 注ぐ力に 全集中

これからも 命をつなぐ 100周年

最高の 医療をあなたに 届けたい

救急の 最後の砦は 近森だ

近森は 高知の医療を 護りたい

五七五では 言い表せぬ 喜怒哀楽

24時 全日全夜 75年

高知県 海山川に 近森会

近森会 背負って立つのは いごっばち

美男美女 奇天烈天才 人種のるつぼ

ちかもりけ ちいきをすくへ こころこめ

新時代 自分もあなたも 大切に

75年 まもりつづけた 命と絆

患者さん いつでも診るよ 近森は

高知家の 暮らしを守る チーム医療

積み上げた 高知の医療は 道なかば

分院の 先達の意志 引き継がん

伴走する その人らしく 生きる道

スペースの関係で掲載できていない作品もあります。ご了承ください。

救命救急センター 2010年代

社会医療法人近森会

理事長 近森 正幸



▲「ひろっぱ」282号1月(2010年)「年頭所感より」



1992年に新館が完成した後の25年間、近森病院は高度急性期病院への基盤整備を着々と行ってきた。

心臓血管外科を開設し集中治療病棟の整備を進め、地域医療支援病院に承認され地域医療連携を徹底、管理型臨床研修病院となり若い先生方の育成に努めてきた。なによりも医師、看護師の業務をコア業務に絞り込み、病棟常駐型チーム医療を行う

ことで、爆発的に医療の質と労働生産性を高め、その巨大なパワーで屋上にヘリポートを有する本館A棟が完成した。

これら先生方はじめ全スタッフの努力の結果として、2011年救命救急センターに指定され、高知県の地域医療を守る最後の砦として「高度急性期病院の時代」が始まったと言える。ちかもり まさゆき

11月の歳時記

ノジギク

近森オルソリハビリテーション病院
4階 看護師 林 良香

牧野富太郎先生が発見、命名したノジギクは野菊の1種で、本州西部、四国、九州に分布し、11月から12月に咲きます。

ノジギクは強い植物のようで草木を育てるのがとても下手な私のもとでも毎年咲いてくれ、咲き終わりにには白かった花びらが赤みを帯び2度楽しませてくれます。

はやし よしか

写真も筆者



47都道府県『新型コロナウイルス対策』地元基金(47コロナ基金)からの支援金

公益財団法人 地域創造基金さなぶり様創設の「47 コロナ基金」から支援金を頂きました。頂いた支援金は、本館・外来センターに設置してある自動検温器の購入資金に充てさせて頂きました。ありがとうございます。



● 近森看護学校通信 59 ●

初めてのオンライン型オープンキャンパス

近森病院附属看護学校 事務長代理 中山 潤一

8月22日(日)に来校型のオープンキャンパスを予定していましたが、同時期に県内で新型コロナウイルスが感染拡大した為、オープンキャンパスを9月5日(日)に延期しました。同日はオンラインでの開催となり、本校では初めてのオンライン型オープンキャンパスを開催しました。参加者が本校を知る機会となる様、プログラムは学校紹介や入試ガイダンスだけではなく、教員が実習室から施設紹介の中継をしたり、在校生が自宅からオンラインで看護学生体験報告、参加者とのフリートークに参加する企画をしました。



画面では参加者が一生懸命にメモをとる姿が見られました。

なかやま じゅんいち



生活の質の向上を目指して

近森病院 リハビリテーション科 部長
兼 脳神経内科 部長 細見 直永

生活の質の向上

近森病院は「命を救う。命をつなぐ」をキャッチコピーとしています。患者さんのその後を考えた時に、当院を退院された後の生活の質の向上を求めべきだと考えています。当院ではこれまでも近森リハビリテーション病院 和田院長や近森オルソリハビリテーション病院 鄭院長のご指導のもと、リハビリテーション部にて急性期リハビリテーションを行ってきました。この当院における急性期リハビリテーションをより向上させ、さらに機能的なものとしたと考えています。

総合的なリハビリテーションを提供

入院療養生活に伴い長期臥床や身体の不活動状態が生じると、筋力低

下や認知機能の低下などがおきることがあります。廃用症候群とよばれるこれらの症状を予防するために、当院では入院直後や手術前からリハビリテーション診断を行い、急性期治療を担当する診療科の医師や多職種との連携を図り、栄養状態を考慮したリハビリテーション治療、リハビリテーションの内容に応じた栄養管理を行います。病気や外傷によって生じた障害に対しては、病状に応じた可能な限りの機能の低下予防と回復、栄養状態の改善、社会復帰を目指した総合的なリハビリテーション医療を提供いたします。

実践的なリハビリを求めて

私は脳血管障害を専門とし、患者さんの病状や栄養障害の改善が可能

な治療としてリハビリテーションを認識し学んできました。そして、脳卒中後の嚥下障害に対する摂食・嚥下支援チームアプローチにより肺炎発症予防効果が認められることを示し、2020年の摂食嚥下支援加算の改定の根拠となるエビデンスを構築しました。このように実践的なリハビリテーションを行なっていく中で病状の改善などに効果的なリハビリテーションのあり方を模索していきます。

終わりに

さらに退院後に患者さんが住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域の医療・介護・福祉サービスとの密な連携を図り支援いたします。

ほそみ なおひさ

私の趣味

FOOTBALL JUNKIES

近森病院 総合心療センター
5階病棟介護福祉士

堀内 航介

何をやっても飽き性な私ですが、7歳から始めたサッカーだけは未だに現役で続けています。そんな中、FOOTBALL JUNKIESというランニングチームとの出会いがありました。フットボールなのにランニング？と



▲前列左の某危機管理部災害対策室室長は最年長かつ最速ランナーです

思うかもしれませんが、メンバーのほとんどが県内のサッカーチームに所属している事が名前の由来です。

「走った距離は裏切らない」が座右の銘の監督が発起人となり、今ではチームの垣根を超え様々なカテゴリーで活躍するサッカー好きな平均年齢40代半ばの走るおじさん集団と化しています。最初は体育館の上の走路を走る程度でしたが、気付けばロードだけでは飽き足らずトレイルランまでと走る事が苦手な私は週末が憂鬱です。39歳の私です

ら若手の部類に入ってしまった年齢層のお陰で、年齢を言い訳にする事も出来ず苦しんでいます。しかし良い事もたくさんありました。ランニングを通しての色々な人との出会いは自分の人生をより豊かにしてくれました。山の頂上から見える景色はそれまでの疲れを吹き飛ばしてくれますし、何より検診の結果を見て自分でも驚きました。

コロナ禍の影響で暫くは集まって走る事は難しいですが、少しでも早く収束し、皆で走れることを願っています。 ほりうち こうすけ



乞！熱烈応援

近森病院 施設認定

外来心臓リハビリテーション

守りと攻めの経理



近森病院 循環器内科
科長
竹下 昌宏



総務部 経理課
課長代理
西森 千景

勤務開始から1年が過ぎ、外来心臓リハビリ部門は少しずつではありますが相談症例が増えてきました。

今後の課題は①地域の心臓リハビリを行なっている開業医の先生方との連携、②新しい運動療法の導入と運用方法の策定、③後進の育成を挙げております。

コメディカル含め、全員の力を結集して患者さんの予後改善を目指します。

たけした まさひろ

経理課では経理業務、決算業務により、病院経営の基礎となる数字を扱います。正確な経理を行うという「守りの経理」と、経営判断に必要な数値を的確に提供するという「攻めの経理」の両方を意識していきたいと思っております。

これから厳しい環境が続くことが予想されますが、病院経営に微力ながら貢献できるよう精進してまいります。

にしもり ちかげ



▲日本脳神経外傷学会研修施設



▲日本循環器学会経皮的僧帽弁接合不全修復システム実施施設

～患者サービス向上ワーキンググループ～ マスク越しのコミュニケーション知ってる?! 5つのポイント!! 「かきくけこ」

マスク着用は感染対策からも絶対の今!! マスクで表情が隠れると、相手への思いが伝わりにくくなります。

そこで、5つのポイントを意識することで、印象良く、円滑なコミュニケーションが取れるようになる「かきくけこ」をご紹介します。

The infographic lists five key points for communication through masks:

- 1. 笑顔 (Smile):** Even with a mask, a smile is visible. It conveys warmth and friendliness.
- 2. 気づかい・表情 (Attention/Expression):** Pay attention to the other person's expression and use your own to show you are listening.
- 3. きぶりリアクション (Clear Reaction):** Give clear reactions like nodding or saying 'yes' to show you understand.
- 4. 化粧 (Cosmetics):** Use eye makeup or lipstick to make your eyes and mouth more visible.
- 5. 声の大きさ・話し方 (Voice Volume/Speech):** Speak clearly and loudly enough to be heard over the mask.

At the bottom, it says 'コロナに負けるな!' (Don't lose to Corona!).



▲日本集中治療医学会専門医研修施設

オリジナルネックストラップのご紹介

オリジナルネックストラップを企画課と施設用度課で作成しました。管理棟2階倉庫にあります。必要な方はどうぞお使いください。



▲デザインの 前野さん、発注調整の 森本さん
◀ 管理部長も愛用

吉田科長の業績報告

◇世界に先駆けた英語論文発表！（左）

～超音波画像による、リウマチ患者さんに対するサルコペニア高精度診断～

◇神経筋疾患の超音波検査 教材執筆のご紹介（右）

近森病院 リウマチ・膠原病内科 科長 吉田 剛



投稿論文 Ultrasound assessment of sarcopenia in patients with rheumatoid arthritis

掲載誌 Modern Rheumatology (日本リウマチ学会の英文誌)

この研究は、高齢の関節リウマチの患者さんにしばしば合併し、全身の筋肉の衰えが進行し、転倒や寝たきりのリスクの増加を生じるサルコペニアについて検討したものです。サルコペニアは骨格筋量の測定が必要であることから地域の診療所や病院では診断が困難なことがあります。当科ではエコーによる骨格筋の評価（骨格筋の面積およびエコー輝度）により高い精度でサルコペニアの診断が可能であることを、世界に先駆けて報告しました。現在、本論文は Modern Rheumatology 誌の most read article（最も購読された論文）にランクされており、幸いにも多く人の注目を集めることが出来ました。

実臨床への本格的な導入にはまだいくつかのハードルがありますが、簡便なエコー検査により外来でサルコペニアを診断できることは大きな意義があり、関節リウマチの患者さんの診療の質を改善することにつながると信じています。

論文はこちらから▶



執筆協力 月間 Medical Technology 別冊超音波エキスパート 20
神経筋疾患の超音波検査 これから学ぶ人のために、実臨床での実践をふまえて

月間 Medical Technology 別冊では、エコー検査による末梢神経・筋の評価について特集が生まれ、私は骨格筋のエコー検査について執筆しました。総論と各論からなり、各論は症例を基に、各疾患の概説とエコー所見について解説をしております。骨格筋のエコー検査は様々な神経筋疾患の診断および評価に有用であり、



特に、当科では四国の複数の施設と共同で、炎症性筋疾患（筋炎）に対し積極的にエコー検査を用いて評価を行っております。

今後も新しい技術を取り入れながら、患者さんに最良の医療を提供できるように努力を続けていきたいと存じます。

よしだ たけし

高知ハビリテーリングセンター



こころの灯

（ともしび）提灯アート展

高知ハビリテーリングセンター

生活・訓練部 部長 島崎 義広



春野の山々やハビリの中庭の樹木が黄色く色づきはじめ、秋の深まりを感じる10月に提灯（ちょうちん）アートのイベントを開催しました。



古くはろうそくを灯して使う照明器具であった提灯。現代ではお盆や神社の御神灯、高知では飲食店の赤提灯や夏祭りなどで馴染みがありますが、今回はデザインを通してその人らしさを表現することをファミリー高知の各事業のご利用者や職員で楽しみました。

今年のアート展のテーマは「明日につながる こころの灯」。真っ白な

提灯に自由な画材で思い思いの気持ちを込めて作った提灯は、この世に一つだけの個性的なデザインばかりでした。

夕暮れになるとライトアップされる84個のオレンジ色のゆらゆらと揺れる光は幻想的な雰囲気です。作った方の気持ちやこころを優しく表現していました。

しまさき よしひろ





全国の舞台へ

近森病院 循環器内科
中山 拓紀



おめでとう！中国四国代表として全国学会へ推薦されました！

Young Investigator's Award (YIA) 受賞

演題名 「心原性ショック合併急性広範前壁心筋梗塞に対する Impella 挿入時に心室細動をきたし VA-ECMO 挿入を要した 1 例」

学会名 第 27 回日本心臓血管外科インターベンション治療学会 (CVIT) 中国四国地方会

この度、9月5日にWEB開催されました第27回日本心臓血管外科インターベンション治療学会中国四国地方会において、上記演題で症例発表を行い、YIAを受賞させていただきました。

今回は、近年 Impella の有用性が益々示されている中で、改めてその

導入時に注意すべき合併症について議論させていただきました。

この受賞により、来年7月に横浜で開催される総会へ中四国代表として推薦頂きましたので、全国の舞台でも堂々と発表できるよう準備して参ります。

なかやま ひろき

医療の消耗品を再利用するための取り組みを開始

診療現場では1回しか使用できない備品がたくさんあります（単回使用の医療機器）。資源を大切にすることやコスト削減などを目的とし、使用済みの単回用品を回収してメーカーにて再製造してもらう取り組みを始めました。

まずは指定された心臓用カテーテルにおいて9月6日から開始しています。

（厚労省の通知に則り実施しています。詳しくは厚労省のホームページを参照ください）



3 病院（本院・リハ病院・オルソ病院） 理学療法科 科長 座談会

セラピストのマネジメント情報サイト「セラピストリーダーズアカデ

ミー」のホームページに座談会が掲載されました。

管理職として軸にしていることや、セラピストの育成など、盛りだくさんで、前編後編にわかれています。ぜひご覧ください。

セラピストリーダーズ
アカデミー▶



◀左から前田秀博科長（本院）、高芝潤科長（リハ病院）、塩田直隆科長（オルソ病院）



ハッスル研修医

高知の生活



初期研修医 谷垣内 ひろか

こんにちは、初期研修医1年目の谷垣内ひろかです。珍しい苗字とよく言われますが、高知ではなく和歌山県出身です。大学から高知に来ました。

消化器内科からスタートした研修も、早くも半年が経過しました。入職当初に比べると少しずつできることも増えていると感じる一方で、まだまだできていないことがたくさんあり、自分の力不足を感じることも多くあります。その中で、上級医の先生方やスタッフの方々に様々な御指導をいただき、日々感謝しております。

休みの日には、大学時代からお世話になっている飲食店で栄養満点ごはんをいただき、リフレッシュしています。高知の食材は本当においしくて、高知って本当に良いところだなと実感しております。また、コロナ禍で大変なことも多いはずですが、私の生活を気にしてくださり、本当に高知の方は心温かいと再度実感しました。高知に貢献できるようにこれからもがんばりたいと思います。

たにがいと ひろか

献血キャンペーン

ありがとうございました。

10月6日（水）に、献血キャンペーンを実施しました。63名の方にご協力いただきました。ありがとうございます。次回は3月に予定しています。

看護師特定行為研修よりお知らせ

研修生向け

新たに「集中治療領域パッケージ」・「外科系基本領域パッケージ」
が追加となり 2021 年度看護師特定行為研修の実習がスタート

特定行為研修指導責任者 看護師長 山脇 久男

本年度、臨床現場のニーズがより強い「集中治療領域パッケージ」・「外科系基本領域パッケージ」を追加開講しました。6月から9月まで「共通科目」をeラーニングで学び、10

月1日より「区分別科目」が開始、模擬授業やeラーニングを中心に授業を行っています。

新型コロナウイルス感染症蔓延のため一時期実習開始も危ぶまれていましたが、感染対策をとりながら、

No.	受講コース	受講生数
I.	栄養コース	4
II.	外科系基本コース	3
III.	集中治療コース	4
IV.	救急コース	2
合計		13

何とか本年度も予定通り実習に臨め

そうです。栄養コースから順次実習に入り2022年2月25日まで続きます。

長期間の実習となりますが皆さま方、どうぞよろしくお願いいたします。



修了者向け

特定行為修了後の、アフターケア充実のために

当院で看護師特定行為研修が開講され、早6年が経過しました。6年間で院内外を合わせて48名の修了生を輩出しております。それぞれが自施設にて活動するにあたって悩みや問題点などを多数抱えていること

が、修了生との交流の中でみえてきました。

そこで、特定行為研修修了後のアフターケアとして情報交換会で悩みや課題を共有したり、スキルアップのための症例検討会等を行っていく必要があると考え、本年度はフォ

ローアップ研修の回数を増やし、開催していくことにしました。直近の9月26日(日)に開催した修了生との情報交換会では、JA高知病院、岡村病院、県立あき総合病院、くぼかわ病院、坂出市立病院の修了生がZoomで参加し、非常に有意義な会となりました。

今後も引き続き情報交換会を含めたフォローアップを行い、県内外の特定行為推進のため活動していきたいと考えております。

やまわき ひさお



リモートで人事考課研修開催

株式会社エイトドア下田静香代表による人事考課応用研修をリモート開催で行いました。

例年行っている研修で、コロナ下でもリモートの形式で10月13、14日に4回に分けて行い計190人の参加がありました。



特定行為の実践～看護師へのタスクシフト～

看護師特定行為研修 術中麻酔管理領域 パッケージ研修 修了者
近森病院 手術室 看護師 横田 涼

▼ Aライン挿入



半年間3名で150件の術中麻酔管理を

今春、術中麻酔管理パッケージの特定行為研修を修了し、4月より術中麻酔管理の業務に携わっています。主な業務内容は、導入後の麻酔維持、全身麻酔患者に対しての人工呼吸管理、輸液投与量の調整、橈骨動脈ライン確保、人工呼吸器からの離脱などを行っています。手術室には特定

行為研修を修了した看護師が、私を含め3名在籍しており、研修修了後半年間で150件の術中麻酔管理を行い、特定行為を実践しています。

医師から看護師へのタスクシフト

当院の常勤麻酔科医師は4名在籍し、非常勤医師とともに月平均230症例の麻酔を行っています。長時間の手術や緊急手術への対応で超過勤務も多く、また当直明けでも帰宅

できない日もある状況です。

現在、特定行為研修を修了した私たちが術中麻酔管理を行うことにより、医師から看護師へのタスクシフトができ、医師の負担の軽減、医師が医師しか行えない業務に集中できるようになったのではないかと感じています。

手術の受け入れがスピーディーに

また、救命救急センターとして、手術の受け入れが素早く対応できるようになりました。

まだまだ未熟ではありますが、特定看護師として地域医療に貢献できるよう、日々研鑽していきたいと思います。

よこた りょう



▲左から、澤田美咲、筆者、中内智大

75周年記念事業のご紹介 診療支援部 企画課

近森病院 75周年記念事業の一環としてホスピタルメッセージが決まりました。現在、職員が一丸となってメッセージボード(巨大アート)を仕上げています。乞うご期待。



2021年9月の診療数 電子カルテ管理課

近森会グループ	
外来患者数	17042人
新入院患者数	1,052人
退院患者数	1,013人
近森病院(急性期)	
平均在院日数	12.30日
地域医療支援病院紹介率	88.27%
地域医療支援病院逆紹介率	298.27%
救急車搬入件数	519件
うち入院件数	275件
手術件数	523件
うち手術室実施	322件
うち全身麻酔件数	233件

編集室通信

想像力を膨らませる。「これってなぜなんだろう？」と話す周りの声に、そんな風に考えたことがなかったな、と思うことがよくある。と同時に、想像力の豊かさに羨ましさを感じ、自分もそのような見方ができれば！と、「？」を探す訓練をしている。いつかこの訓練が身につく、日常が豊かになっていると嬉しいなと思い過ごす日々である。 コーヒーフレッシュ

食医に憧れて。夢を次へ

第3回（最終回）

近森病院 総合診療科・総合内科
部長 浅羽 宏一



食べることは生きること

患者さんはバランスの良い食事を摂るように指導されます。そのバランスの良いとはどういう意味でしょうか？ 例えば、現代医学では、1600キロカロリー、炭水化物60%、脂質20%、蛋白質30%、全てのビタミンは不足なく食べなさいとなり、漢方医学では、出来るだけ全体を食べなさい（目刺しなら頭も尻尾も）、



植物は根も葉も茎も食べなさい、青、赤、黒、白、緑、全ての色を食べなさいとなります。この様に、食べ物の分析や成分を重視する現代医学に対して、漢方医学は命を無駄なく活かすことを重視しています。私は大学で培養細胞を使った研究をしました。培養細胞は糖、アミノ酸、ミネラル、ビタミンをバランス良く投与しても生きるとは出来ません。これらに加えて動物の血清をいれないと生きられないのです。命（細胞）を繋ぐものは命（動物の血）なのです。

未来のために

私は個人的に、食事療法としてカロリーや栄養素重視の現代栄養学では不十分なので、薬膳の考えを取り入れた栄養指導が望ましいと考えて

います。私は食医にはなれませんが、若い栄養士の先生方が本を読んで食医・薬膳に興味を持ち、勉強したいと思った時に、これらの本が少しでもお役に立てれば嬉しいなと考え、本をお譲り致しました。将来、「糖質60g、カロリー1400キロカロリーだからご飯は120g 豚肉100g」と言った様な数字に支配された味気ない栄養指導ではなく、「季節の菜の花に黒豆を添えて、彩を鮮やかにし、魚は1匹、丸ごと、命を余すことなく頂きましょう。」と言った文学的な栄養指導の出来る栄養士の先生が「浅羽文庫」を読むことで一人でも誕生すればとても嬉しいと思っています。

あさば こういち

リレー エッセイ

短期留学を通して

近森病院透析室 臨床工学技士 井口 雄登



私は音楽を聴くことが好きで特にThe Beatlesが好きです。高校一年生の時、洋楽の歌詞の意味を知りたいと思ったことがきっかけとなり、英語の勉強を始めました。

定時制の高校に通っていたころ、休日や仕事と学校の空き時間を利用して勉強をしていました。勉強をしていく中で海外の文化についても興味湧いてきて、実際に行ってみた



いと感じたため英会話教室にも通うようになりました。

英会話教室の先生から「留学をしてみないか」と提案があり、私は高校を一度中退しており二度目の高校生活だったため学校を休みたたくないという思いが強く、留学はできないと思っていたのですが、短期留学のプランもあると教えていただき高校卒業後に行くことを決めました。

高校の卒業式が終わってからすぐに空港に向かい、翌日からニュージーランドのオークランドという都市でホームステイをしながら語学学校に1ヶ月間通いました。語学学校では様々な国から生徒が来ていました。みんなとても優しく接してくれ

たため、すぐに打ち解けることができました。放課後にはみんなでご飯を食べに行ったり、バドミントンや卓球などスポーツを通じて交流を深めることができました。

自然に触れることも好きで、ニュージーランドは映画『ロードオブザリング』の撮影地になった国で、ロケ地巡りのツアーに参加して自然を堪能することもできました。

短期留学を通して自然豊かなニュージーランドがとても好きになったので近い将来、また行けたらと思っています。

いぐち ゆうと

近森病院附属看護学校「誓いのセレモニー」

命を護る・支える・助け合う

看護師への想い強く

近森病院附属看護学校
7期生 小松 加乃



入学して半年、たくさんの講師から看護の勉強を学び、10月からは病院へ実習に行きます。実習前のこの『誓いのセレモニー』では、患者さんの「命を護る・支える・助け合う」という思いを込め、命の象徴となるハートを両手で支え、その手を絶対に離さない気持ちを持ち、挑みました。

新型コロナウイルスの影響で行動の制限や自粛などの厳しい状況が続く、学校でも9月の中旬までオンライン授業となったため、顔を合わせての意見交換や学校での準備の機会が減りました。しかし、その分各自が自分の役割を認識し、自発的に動く力を身に付けることが出来ました。私たち7期生41名は年齢層が広く仲の良いクラスで、皆の協力により無事にセレモニーを終えることができました。

今回のセレモニーで、実習に行くための心構えを持つことができ、さらに看護師への想いが強くなりました。「患者さんの気持ちを理解し、尊重できる」「様々な経験から技術や知識を身に付け、豊かな感性を育み、成長し続けられる」というクラス全員の宣誓を心に刻み、精一杯協力し、仲間と共に歩んでいきたいと思えます。これからも応援よろしくお願いいたします。

こまつ かの

「看護のこころ」とは

近森病院附属看護学校
1年生担当 島本 恵



10月1日、7回目を迎える「誓いのセレモニー」を開催しました。昨年から続く新型コロナウイルス感染症の影響を受け、例年であれば準備を始めている9月にオンライン授業へと切り替わり、十分な準備時間を取れない中で取り組みをスタートさせました。

オンライン期間中にも、「看護のこころ」とは何かについて各自の意見を出し合い、「思いやり」「誠実」「命を護る」の3つのキーワードを導きました。これらをコンセプトとし、役員の学生を中心にクラスみんなが協力し、助け合いながら取り組みました。

7期生41名は、近森会グループからの皆様方と2・3年生の前で、どんな看護師を目指すかを宣誓し、クラスみんなのキャンドルで命をあらわす大きなハートとそれを護る手を表現しました。

クラスの4分の1が社会人学生のクラスですが、年齢幅を感じさせず、互いの長所を尊重し、気遣い合いながら協力する姿を見て、とても頼もしく感じられ、3年後臨床で活躍する様子が垣間見えた気がしました。

お忙しい中ご臨席いただきました皆様方、本当にありがとうございました。7期生の成長をあたたく見守っていただけますようよろしくお願いいたします。

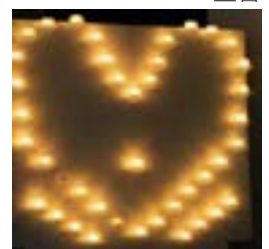
しまもと めぐみ



▼参加制限したため保護者向けに同日動画を公開



▲宣誓



▲キャンドル

◀実行委員の皆さん

愛溢れる“ちかやくインスタ！”

薬剤部 部長 筒井 由佳

薬剤師不足の状況打破を

2020年9月のInstagram初投稿から1年を迎えました。

高知県では病院薬剤師不足が問題になっており、当院も例外ではありません。そのような状況を打破する対策の1つとしてInstagramでの情報発信を始めました。コロナ禍で見学の機会も少ない薬学生に一人でも多く、病院での薬剤師業務を知っていただきたいと薬剤部の日々を発信しています。

薬剤部の日々に大きな反響が

発信してきた内容は薬剤部の業務だけでなく「病院薬剤師の家庭菜園」、「高知で働こう（高知のいいところ）」、「一日一善」、「ママさん薬剤師」など、シリーズ化したものもあります。

続けていく中で近森や高知の良さを再発見することもできました。学生さんを対象に始めたインスタですが、他職種の方や保険薬局などの他施設の方からも「楽しみにしてる！」と声をかけていただいたり、遠くの親戚から連絡を受けたり、思わぬ反

響の大きさに驚いています。これまで約70名の方に登場していただきましたが、みなさん快く引き受けて下さり、そのおかげもあってここまで楽しく続けていくことができました。これからも“ちかやくインスタ”をよろしくお祈いします！

つつい ゆか



▲いいね！No1



▲ワクチン調整



follow me!



家庭菜園シリーズ



スイーツ男子



▼病院実習最終日



▼多職種カンファ



集中治療室で働く薬剤師

近森病院本館 Bゾーン3階の工事案内

11月から来年5月まで、B棟3階にて改修工事をおこないます。

① 11月6日～翌年2月15日

仮囲いのため通路幅がかなり狭くなります。

② 2月26日～5月9日

【B5】血管造影室は使用不可となります。

ご迷惑をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。
(日程は変更になる場合があります)



▲通路幅がかなり狭くなります

ご協力よろしく
お願いします。



ニューフェイス ①所属②出身地③最終出身校④趣味など



富士田 崇子

ふじた たかこ ①循環器内科医師②広島県尾道市③高知大学④1年ぶりにかえってきました。1年の間に変わった病棟の配置とスタッフの皆さん



小松 優香

の顔と名前をはやく覚えたいと思います！
こまつ ゆか ①消化器外科医師②大阪③高知大学④半年間大学で勉強させて頂き帰ってまいりま

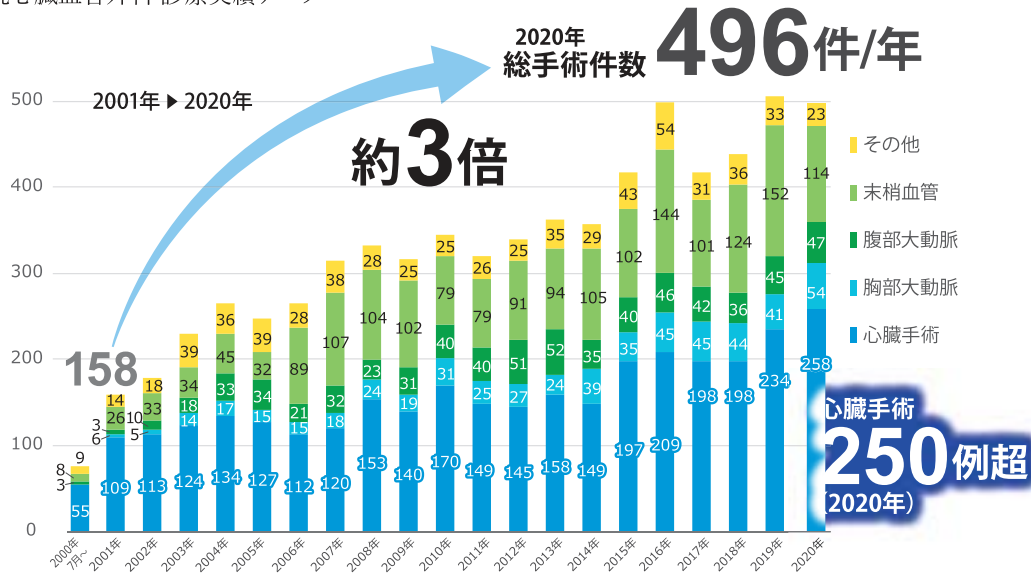


松岡 溪太

した。
まつおか けいた ①脳神経外科医師②高知県③高知大学④あき総合病院から赴任してまいりました。電子機器等を趣味としております。

手術件数の推移

出典:近森病院心臓血管外科 診療実績データ



心臓血管外科の診療実績

充実したスタッフ



経皮的動脈弁植え込み術専門施設

TAVI 2019年 4月
四国初の専門施設(全国20番目)

2020年10月
TAV in SAV実施施設

2021年 2月
四国初の慢性透析患者さんへの
TAVI実施施設認定(全国28施設)

TAVI総件数
419件
(2014年12月～2021年9月30日実績)

ハートチーム
心臓血管外科、循環器内科、
放射線科、麻酔科

高難度手術後でもすぐにリハビリ開始

▼ 心臓手術の翌日に歩行 (2000年～)



▼ 心臓手術の当日に立位 (2011年～)

